

Jリーグ「ツエーゲン金沢」の社会連携「シャレン！」での協働実践

団体名 ● 地域スポーツマネジメント研究室 (西村ゼミナール) / 代表者名 ● 西村貴之 (人間科学部スポーツ学科・教授)

はじめに

日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)は「世界でいちばん地域を愛するプロサッカーリーグになりたい」をコンセプトに、Jリーグ社会連携活動(通称「シャレン!」)の取組みを推進している。「シャレン!」は社会課題や共通のテーマ(教育、ダイバーシティ、まちづくり、健康、世代間交流など)に地域住民、企業や団体、自治体、学校などとJクラブが連携して取り組む活動である(Jリーグ web サイトより)。

本研究室では、石川県をホームタウンとするJクラブ「ツエーゲン金沢」との協働により、2020年度に「子どもの未来を応援する活動」を「シャレン!」として実施した。その取組みは現在もツエーゲン金沢や他の関係団体により継続されている。

2021年度は、サッカーを通じ、障害のあるなしに関わらず誰もが共に暮らし続けられるまちづくりを目指し「挑戦」する活動「Future Challenge Project」に実行委員会の一員として参画した。「視覚障害者向けのサッカー観戦会を開催する」というこれまでにない新しい試みに主催者、視覚障害者、サポーターの3者が挑戦することで、相互理解を深め、「お互い様」があふれるまちづくりを目指すこととした。

活動内容

日程：2021年10月17日(日)ホームゲーム

VS ヴァンフォーレ甲府 戦

場所：石川県西部緑地公園陸上競技場

参加：実行委員会メンバー、協力者約30名
本学学生29名

- 内容：①視覚障害者の方向けサッカー観戦会
② PlatCast での実況・解説サービス配信
③ 応援/啓発グッズ!ハリセンプレゼント
④ ブラインドサッカー体験会
⑤ 視覚障害者についての啓発ブース
⑥ 「コード化点字ブロック」テスト運用

以上の①～⑥の企画のうち①、③、④、⑤について、企画段階から学生も参画し、関係各所との調整を含めた事前準備、当日の運営を実施した。



試合観戦



参加者の移動サポート



ブラインドサッカー体験会



啓発ブース

成果、結果の考察

イベントに参加した視覚障害者の方々からは、「自分達だけでは実現が難しい、貴重な機会を得ることができた」という喜びの声をいただいた。

「スポーツを通して、障がいを持った方々と一緒に楽しむにはどうすれば良いのか」という問いに対して、学生達が導いた答えは、「相手が何に困っていて、こちらがどのようにすれば助かるか、自ら積極的なコミュニケーションを図ること」という人と人とがつながるためのあたりまえの心構えだった。

また、自ら考案した企画を関係者と協議しながら形にし、それを実践する一連のプロセスを経験できたことは地域スポーツマネジメントを実践的に学ぶ貴重な機会であり、「スポーツのチカラ」を実感することができたようである。

今後の課題、展望

2022年度の事業展開に向けた関係者との対話が始まっている。事業の持続可能性の担保に向けた多様な主体の連携・協力についても検討していきたい。